

令和元年度第1回筑西市総合教育会議 会議録

令和2年3月19日（木） 午後3時00分（開会午後3時00分～閉会午後3時52分）

筑西市丙360番地 筑西市役所4階 全員協議会室

市長：須藤茂、教育長：赤荻利夫、教育長職務代理者：吉澤貴美子、教育委員：塚本真実、教育委員：斉藤裕光、教育委員：草間武

なし

副市長：菊池雅裕、【市長部局】市長公室長：日向裕次、総務部長：高島健二、企画部長：関口貴一、【教育委員会】教育部長：小野塚直樹、次長：古幡成志、次長：大森達也、次長兼施設整備課長：鈴木勝利、参事兼指導課長：萩野谷匡、学務課長：飯山正幸、学務課学校総務グループ係長：市村治、大木かつこ、施設整備課施設整備グループ係長：新山雅之、坂入陽子、施設整備課施設グループ主任：栗原崇、水越一寿

0名

- (1)「下館中学校と下館北中学校の統合について」
- (2)「明野地区義務教育学校について」
- (3)「その他」

1. 開会

2. あいさつ

須藤市長：みなさま、こんにちは。本日は、お忙しいところ、筑西市総合教育会議にご出席をいただき、誠にありがとうございます。また、皆様方には、日頃より教育行政の推進につきまして、多大なるご理解・ご協力を賜っておりますこと、この場をお借りいたしまして、厚く御礼申し上げます。皆様ご承知のとおり、

平成 27 年度から、すべての地方公共団体に「総合教育会議」が設置されることとなり、本市におきましても、これまで 4 回会議を開催したところでございます。

本日は、「下館中学校と下館北中学校の統合 及び 明野地区義務教育学校」について教育長をはじめ教育委員の皆様と協議調整を行いたいと考えております。つきましては、皆様の忌憚のないご意見を頂戴できればと考えております。今後とも、皆様とより一層連携を深めていただきまして、児童生徒の教育環境の充実を図ってまいりたいと考えておりますので、慎重かつ活発なご意見を賜りますようよろしくお願いいたします。本日は、どうぞよろしくお願いいたします。

赤荻教育長：みなさま、こんにちは。本日は、総合教育会議ということで、市長さんと私たち教育委員会とで筑西市の教育について協議する機会をいただき、大変うれしく思います。最近の話題というと、新型コロナウイルス一色になっておりますが、本市においても国からの要請を受け、感染拡大防止のため市内小中学校を、3月3日から春休みまで一斉臨時休業としたところです。

本日の会議でございますが、少子化による児童生徒数の減少に加え、子どもたちを取り巻く教育環境も大きく変化しておりますことから、現在の学校の在り方についても一生懸命に検討を進める時期にきていると認識しております。ただ今、市長さんからもありましたとおり、本日は特に下館北中学校区と明野中学校区について意見交換ができれば幸いです。本日はどうぞよろしくお願いいたします。

3. 議事録署名人の指名

筑西市総合教育会議運営要綱第 7 条第 2 項の規定により、吉澤教育長職務代理者を指名。

4. 協議事項

筑西市総合教育会議運営要綱第 4 条第 5 項の規定により、会議の進行を須藤市長に交代。

須藤市長：それではここから、私が会議の進行を務めさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。
協議事項（１）『下館中学校と下館北中学校の統合について』を事務局から説明願います。

学務課長：資料により説明

須藤市長：ありがとうございました。教育委員会におきましても、平成 28 年度に「筑西市学校の在り方検討委員会」からの答申を受け、下館北中学校区では、保護者協議会が立ち上がりまして協議を重ねてきたところですが、まずは、今の説明の中で委員さんのご意見を伺わせていただきたいと思います。いかがでしょうか？

塚本委員：北中学校向けに保護者さんには十分に説明を行っていただいて、ありがとうございます。ただこの案について承諾していただいたということで、進めさせていっているということで良かったと思いますが、ただ、反面、下館中学校さん、受け入れる側へはどうなっているのでしょうか？

学務課長：まずは、下館北中学校区の生徒、そして保護者の皆様に説明をして、令和 5 年 4 月ということでご了承をいただいたということで、今後特に力を入れていくのは現在の下館中学校そして、下館中学校区にある小学生との交流事業というものが非常に大切になってくると思います。その中で交流事業をするとともに、下館北中学校と下館中学校が統合するとなると PTA も一緒になるということで、今後 PTA の役員同士の交流が必要になってくる。また教職員につきましては、できるだけ教育長にお願いして、北中学校の学校の先生が、統合の時期になるべく多く下館中学校へ行ってもらえることで、子どもたちの環境が変わるストレスというものを軽減できればというふうに事務局としては考えております。今後の方針が決まりましたら、下館中学校の方にも十分に説明する必要があると考えております。まずは北中の方を中心に意見をまとめるといいますか、意思の統合をしていくということが必要であるということから、そういった方法をとっています。

須藤市長：北中の保護者のみなさまの全体的なご意見というのはどのような感じでしたか？

学務課長：これまで、今申し上げたように、4 回保護者協議会を行いました。保護者協議会の委員の中には、6 年

生の保護者だけでなく、あえて3年生、4年生、5年生の保護者も加わっていただきました。令和5年の4月という統合の時期を示させていただきましたが、保護者の皆様の中には積極的に賛成というよりは、このような北中学校の現状を考慮すると、統合するというのはやむを得ないというような意見が大半でした。はっきり申し上げますと、統合に反対だという意見は保護者協議会のみなさまからは一人もいらっしゃいませんでした。以上です。

須藤市長：他にございますか？

塚本委員：北中の校舎ですが、活用方法についても併せて説明していただいているのですか？

学務課長：北中は、建設9年くらいですが、活用については、教育委員会だけでなく、市全体として考えていかなければならない問題だと考えております。この後の議題にあります明野地区義務教育学校の設置についても、同じように統廃合した後の残された校舎の取り扱いについての問題もありますので、市全体でその部分については検討していかねばならないと事務局としては考えております。

吉澤委員：今検討していただいている問題は、子どもたちの教育環境をより良いものにしたいということがスタートで、きめ細かく計画を立てていただいで、地域の方の合意形成を図りながら、今お話しいただいた案に到達していただいていると思うのですが、本当にそれまで大変なことがたくさんあったかと思いますが、地域の方にとっても当事者意識をいつ持つかということがすごく違うと思うんですね。私はたまたま最後の説明会の時に参加させていただいたんですが、その時期になって真剣に、「北中のことどうなんだ？」って考え始めたような方もご意見を述べていたりして、やはり先ほどの下館中学校のこともそうですが、北中学校においてもいろんなご意見を持っている方もいらっしゃると思いますので、丁寧にその都度説明していただければありがたいと思いますし、2月9日の説明会の時も、事務局の方々が、本当にその方に丁寧に丁寧に、こちらが本当に関心するほど説明していただいで、こういう想いが変える力になっていくのかなと感心しましたので、今後もよろしくお願ひしたいと思ひます。

須藤市長：お褒めのお言葉をいただき、ありがとうございます。しっかりと受け止めていきたいと思ひます。そのほかありますか？

草間委員：統合したとして、統合準備部会というものがありますよね？学校の今後のスケジュールの中に、細かい

話になりますが、このメンバーや準備する内容や方針は決まっているのですか？

学務課長：統合準備部会については、校長先生や教頭先生は当然なのですが、今事務局で考えているといいますか懸案事項としては、学校徴収金の取り扱いとか、卒業アルバムはどこの写真屋さんに撮ってもらっているのか、運動会の統一方法とか、修学旅行の積立金の問題とか、何年前にどこに行くか決めていくのかなど、当然学校によって違う事務的なものの統一をする、あとは、定期的な生徒同士の交流事業とか、合同の部活動体験をしていくなど、まだ事務方では見えない学校側の課題についても、やはりこちらの事務局ではわからない部分も多いので、逆に先生方に懸案事項を出してもらって、学校を中心に準備していただければと考えております。以上です。

草間委員：統合直前の令和4年になると、教育課程とか校務分掌など両方の校長先生で話し合うのかどうか、細かいことはわかりませんが、先生の立場も考えるとある程度希望も通ったほうが学年経営とか学級経営とかもやりやすいのかなと、その辺の調整も細かくやってほしいなと思います。

須藤市長：それでは今ありましたように、反対者はいなかったということもありましたし、保護者との合意形成が図られたと思いますので、下館北中学校は、令和5年の4月から下館中学校へ統合するという事で、事務を進めていただくということによろしいでしょうか。

委員全員：はい。

須藤市長：続きまして、協議事項（2）『明野地区義務教育学校について』事務局から説明願います。

学務課長：資料により説明

須藤市長：ただ今、説明がありました「明野五葉学園」という学校名について、委員さんのご意見がありましたらお願いいたします。

吉澤委員：公募の結果、明野五葉学園になりましたが、地域の方の願いとか、今まで明野で育まれてきたことが表れている本当に良い名前になっていて一生懸命考えていただいたかと思います。私が一番こだわりがあ

るのが、筑西市立がつくことで学園であっても学校であることはわかると思うんですけども、責任をもって9年間義務教育をしますという意味では、私としては「学校」というものがどこかについてほしいなという個人的な願いがあります。例えば、明野五葉学園小中学校とか、明野五葉学園義務教育学校とか、教育を行うというインパクトを与えてほしいなというのが個人的な意見です。

齊藤委員：明野五葉学園ということなのですが、明野地区の方は、この五葉という言葉、それから意味についても良く理解しているかと思えますけれども、他の地区の関城、協和、下館の方にとっては、五葉って何だろう？って疑問に思うこともあるかと思えますので、いろんな機会でその歴史とかそういったものをPRしていただければいいかなと思います。

須藤市長：そうですね、そういうことは必要ですね。それから、ご意見がありました学園とか学校っていうのは？

学務課長：明野の準備委員会でも「明野学園」の票数が一番多いですよとご説明した中で、忌憚のないご意見をいただきたいということで、特に準備委員会の委員の中から「五葉」という言葉を使いたいという意見があったということが一点。そして「明野」については三重県にも明野がありますので、筑西市立となれば別ですが、明野学園ですと勘違いされてしまう可能性がある。ですから「明野五葉」という言葉を入れたいという意見が出ました。明野五葉義務教育学校という意見も出たのですが、なかなか小学生にとってはそこまで書くのが大変じゃないかとの意見がありました。小中学校という名称についても、全国の義務教育学校の一覧をお見せしたのですが、結果として意見の統合をいただけたのは明野五葉学園という形で、準備委員会の協議の場なので、私ども事務局というよりは、準備委員会の皆様のご意見の集約の結果がこういう形になったというわけで、ご理解を頂ければということで事務局としては考えております。以上です。

須藤市長：学園を使うのか学校を使うのか？決定は？

学務課長：事務局といたしましては、せっかくこれまで準備委員会等で3回にわたり選定方法等いろいろ検討等をしていただいた中で、その結果なので、明野五葉学園という言葉を中心に進めていければと考えておりますが、あくまでも議会に上程し議決を受けないと決定ということにならないので、それまでの間はさらに教育委員さんのご意見をいただきながら議会上程について検討していきたいと考えております。

須藤市長：うちも合併したときに筑西市になりましたけれども、旧1市3町の頭文字をとって「しあわせ市」という意見もありましたよね？ 明野地区の皆様の気持ちもわかりますので、明野五葉学園ということでそのまま進んでもらったとしても、意見の中に「学校」という意見もあったということも含めて、地元の意見を尊重しながら、今後の事務を進めていただきたいと思います。

学務課長：はい。ありがとうございます。

須藤市長：それでは、施設の整備状況について、事務局から説明願います。

施設整備課長：資料により説明

施設整備課係員：プロジェクターにより説明

須藤市長：ただ今の説明で、ご質問ありますか？よろしく願いいたします。

委員全員：素晴らしいです。夢と希望があふれます。わくわくしますね。

須藤市長：今は、黒板は使わないのですか？

施設整備課長：中学校でホワイトボードを試行的に使用しました。先生方の意見を聞きますと、黒板がいい、質感がでるという先生もいますし、ホワイトボードでやりたいという先生もいますので、もう一回学校と相談いたしまして、ICT関係で今の説明のようにビデオプロジェクターでホワイトボードに映すという手もありますし、そのほかに大型モニターでICTをやるところもありますので、そのところはICTの導入と一括して検討して参りたいと思います。以上です。

須藤市長：ありがとうございました。他にございますか？無いようなので、続きまして（3）その他 でございますが、新型コロナウイルスの感染拡大予防のために、筑西市でも小中学校を春休みまで一斉臨時休業にいたしました。教育現場としてはいかがですか？赤荻教育長から現状のご説明をお願いいたします。

赤荻教育長：新型コロナウイルスの対応のために本日小学校の卒業式を中学校と同じように、児童と児童の保護者そして教職員のみで無事に行いまして終了いたしました。また24日の修了式には通知表とか給食費等の返金がございますので、小学校では24日の朝8時から夜7時までの間に保護者の皆様においでいただいて、通知表と返金をさせていただく、中学生は自転車ですので指定の時間に来ていただいて、通知表とお金の返金をするという計画をしております。5年生までを仮に急に24日に登校させますと、きちっとした指導が無いところで1年生から5年生までの責任をもって通学班をしていただかなくてはならないということで、安全確保という意味では、保護者の皆様においでいただいてお渡しするというふうに考えております。なお、保護者の皆様のご都合で、24日にだめな場合には、25日にでもおいでいただく、あるいはどうしても場合にはお届けにあがるということで対応させてもらうということにしております。それから25日からの春休みについてであります。今日にでも政府からの方針が出されるということで、その方針を聞きながら23日中に対応を検討し、24日の保護者がお見えになるとき、または中学生が登校するまでには対応について文書を出せるようにしていきたいと思っております。できれば私としては4月6日から入学式・始業式を通常のようにできることを望んでいるわけですが、ここ数日の間に茨城県でも3人発症者が出ているということですので、情報を収集しながら対応していきたいと考えております。

須藤市長：ありがとうございました。協議事項は以上でございますが、その他ご意見等ございますか？それでは、ここで会議進行を事務局にお返しします。

古幡次長：須藤市長、会議の進行、ありがとうございました。それでは、以上をもちまして令和元年度第1回筑西市総合教育会議を閉会いたします。ありがとうございました。

以上 閉会午後3時52分

学務課学校総務グループ係長 大木 かつこ